



印西市

議会だより



「小林鯉のぼり大会」 H23撮影

平成24年 第1回 定例会

会期2月20日～3月23日

平成24年度 当初予算を可決
一般会計 309.1億円 各会計総額 約447.1億円

予算審査 特別委員会設置

特別委員会設置

第1回定例会は会期33日間で開かれました。
今定例会には、条例の一部改正が9件、廃止条例が1件、平成23年度補正予算7件、平成24年度当初予算6件、平成24年度補正予算1件、その他35件の計59議案のほか、議員発議による発議案が1件、予算修正案1件、その他決議案4件、請願2件、陳情3件が提出され、継続審査の請願とともにそれぞれ慎重な審議が行われました。
また、平成24年2月9日(木)に第1回臨時議会が開かれ、条例の制定1件、平成23年度補正予算1件が提出され、それぞれ慎重な審議が行われました。
なお、議案等の議決結果については、9ページに掲載しています。

予算審査特別委員会 審査報告

「平成23年度印西市各会計補正予算」、「平成23年度印西市水道事業会計補正予算」、「平成24年度印西市各会計当初予算」及び「平成24年度印西市水道事業会計当初予算」を重点的に審査するため予算審査特別委員会を設置し、付託しました。

選出した委員は次のとおりです。

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 橋本 和治 |
| 副委員長 | 酢崎 義行 |
| 委員 | 雨宮 弘明 |
| 〃 | 岩崎 成子 |
| 〃 | 海老原 一作 |
| 〃 | 近藤 瑞枝 |
| 〃 | 中澤 俊介 |
| 〃 | 上條 公司 |
| 〃 | 板橋 睦 |
| 〃 | 山田喜代子 |
| 〃 | 松本多一郎 |

【審査結果】

- ◆平成23年度印西市各会計補正予算(可決)
- ◆平成23年度印西市水道事業会計補正予算(可決)
- ◆平成24年度印西市各会計当初予算(可決)
- ◆平成24年度印西市水道事業会計当初予算(可決)

予算審査特別委員会は、2月29日の本会議において、委員11名による特別委員会が設置され、3月1日から3月9日までの6日間にわたり、一般会計及び各特別会計並びに水道事業会計の予算案について慎重に審査を行いました。
ここでは、審査における主な質疑及びその答弁について要約して掲載します。

「平成24年度当初予算」 一般会計

①質疑 防災倉庫の整備について、平成24年度は平賀小学校と宗像小学校の2カ所ということだが、未整備は何カ所か。
答弁 未設置の場所については、木下小学校、いには野小学校、本塾中学校。財政的な面もあり、来年度2基の整備予定である。

②質疑 防犯カメラの設置について、設置数と活用及び成果は。
答弁 防犯カメラの設置数は、自転車駐車場で150基、木下・千葉ニュータウン中

学校3年生までは市の負担となる。

③質疑 「児童医療費」については、小学校4年生から中学校3年生までが対象になるが、この医療費の一部または全部を助成する経費として5288万2000円計上されている。この事業費は全額市の負担になるのか。
答弁 小学校4年生以降の分については、独自の制度で全額市の負担となっている。現在「子ども医療費(小学校3年生までが対象)」については県事業で県と市で行っているが、県において平成24年度の入院については小学校6年生まで拡大すると聞いている。実施時期は平成24年12月からの予定であるため、入院費については、12月から翌年3月末までの4カ月分は市独自の負担は中学生のみ、通院については小学校4年生から中学校3年生までは市の負担となる。

④質疑 中学校において、新学習指導要領の改訂に伴う教材備品等の内容と予算額は、

⑤質疑 不法投棄対策に要する経費に備品購入費317万4000円が計上されているが、その内訳は。

⑥質疑 新たな取り組みとして、投票所入場整理券に宣誓書をすり込み、有権者が事前に自宅等で記入できるようにするが、その効果は。

⑦質疑 放射線の対策事務に要する経費として428万4000円計上されているが、その内訳は。

⑧質疑 平成25年度に限定特

定行政庁に移行するための準備費用が計上されているが、具体的な内容は。

国民健康保険特別会計 国民健康保険特別会計について、平成23年度をもとに前年度比5.2%増で予算計上したとのことだが、具体的にはどの位の伸びだったのか。

水道事業会計 印旛配水場残留塩素計交換工事の詳細は。

後期高齢者医療特別会計 徴収率について、特別徴収は100%の徴収率だが、普通徴収は何%を見込んでいるか。

下水道事業特別会計 汚水処理施設維持管理に要する経費が、かなり増額となっている理由は。

介護保険特別会計 認知症対応型共同生活介護給付費負担金が増額となった理由は。

一般会計 公園緑地の維持管理費が4900万円減額となっている理由は。

後期高齢者医療特別会計 徴収に關し、対象人数は増加しているが、役務費が減額となっている理由は。

水道事業会計 役務費の55万円減額については、徴収に関する費用のうちの通信費の減と、郵便料の単価の減によるものである。

いるため増額となる。

後期高齢者医療特別会計

⑨質疑 当初予算額は45億9227万円計上し、1号補正で1億654万3000円の増、今回2号補正で合計2億3773万2000円の増である。

水道事業会計

⑩質疑 印旛配水場残留塩素計交換工事の詳細は。

⑪質疑 耐用年数10年のものを保守点検しながら25年使用してきたが、既に部品の供給が停止しているため、更新工事を行う。金額的には500万円前後を見込んでいます。

⑫質疑 今回の補正は、東日本大震災の被災者に対し、介護サービス利用料の自己負担分等の減免に対して国庫補助金が追加交付されることによるものだが、その対象者は何名か。

⑬質疑 介護保険災害の臨時特例補助金の対象者は75名である。

⑭質疑 徴収に關し、対象人数は増加しているが、役務費が減額となっている理由は。

⑮質疑 役務費の55万円減額については、徴収に関する費用のうちの通信費の減と、郵便料の単価の減によるものである。

⑯質疑 設置件数について、印西地区分で44件の見込みに対し、申し込みが125件で81件の増、印旛地区で10件の見込みに対し、申し込みが12

⑰質疑 財政調整基金の積立金の合計額はいくらか。また、基金の積立額の目安はあるのか。

⑱質疑 平成23年度末で約1億9500万円の基金残高になる。今後、施設の整備、管路等の修繕に備えていく必要があるため、出来るだけ基金に積み立てていきたい。

⑳質疑 今回の補正は、東日本大震災の被災者に対し、介護サービス利用料の自己負担分等の減免に対して国庫補助金が追加交付されることによるものだが、その対象者は何名か。

㉑質疑 介護保険災害の臨時特例補助金の対象者は75名である。

のか。

⑳質疑 当初予算額は45億9227万円計上し、1号補正で1億654万3000円の増、今回2号補正で合計2億3773万2000円の増である。

㉒質疑 財政調整基金の積立金の合計額はいくらか。また、基金の積立額の目安はあるのか。

㉓質疑 平成23年度末で約1億9500万円の基金残高になる。今後、施設の整備、管路等の修繕に備えていく必要があるため、出来るだけ基金に積み立てていきたい。

㉔質疑 今回の補正は、東日本大震災の被災者に対し、介護サービス利用料の自己負担分等の減免に対して国庫補助金が追加交付されることによるものだが、その対象者は何名か。

㉕質疑 介護保険災害の臨時特例補助金の対象者は75名である。

㉖質疑 徴収に關し、対象人数は増加しているが、役務費が減額となっている理由は。

㉗質疑 役務費の55万円減額については、徴収に関する費用のうちの通信費の減と、郵便料の単価の減によるものである。

㉘質疑 設置件数について、印西地区分で44件の見込みに対し、申し込みが125件で81件の増、印旛地区で10件の見込みに対し、申し込みが12

㉙質疑 財政調整基金の積立金の合計額はいくらか。また、基金の積立額の目安はあるのか。

㉚質疑 平成23年度末で約1億9500万円の基金残高になる。今後、施設の整備、管路等の修繕に備えていく必要があるため、出来るだけ基金に積み立てていきたい。

㉛質疑 今回の補正は、東日本大震災の被災者に対し、介護サービス利用料の自己負担分等の減免に対して国庫補助金が追加交付されることによるものだが、その対象者は何名か。

㉜質疑 介護保険災害の臨時特例補助金の対象者は75名である。

⑳質疑 給水申し込み納付金収益が増額となっている理由は。

㉑質疑 設置件数について、印西地区分で44件の見込みに対し、申し込みが125件で81件の増、印旛地区で10件の見込みに対し、申し込みが12

件で2件の増となり、増額補正となった。

㉒質疑 財政調整基金の積立金の合計額はいくらか。また、基金の積立額の目安はあるのか。

㉓質疑 平成23年度末で約1億9500万円の基金残高になる。今後、施設の整備、管路等の修繕に備えていく必要があるため、出来るだけ基金に積み立てていきたい。

㉔質疑 今回の補正は、東日本大震災の被災者に対し、介護サービス利用料の自己負担分等の減免に対して国庫補助金が追加交付されることによるものだが、その対象者は何名か。

㉕質疑 介護保険災害の臨時特例補助金の対象者は75名である。

㉖質疑 徴収に關し、対象人数は増加しているが、役務費が減額となっている理由は。

㉗質疑 役務費の55万円減額については、徴収に関する費用のうちの通信費の減と、郵便料の単価の減によるものである。

㉘質疑 設置件数について、印西地区分で44件の見込みに対し、申し込みが125件で81件の増、印旛地区で10件の見込みに対し、申し込みが12

㉙質疑 財政調整基金の積立金の合計額はいくらか。また、基金の積立額の目安はあるのか。

㉚質疑 平成23年度末で約1億9500万円の基金残高になる。今後、施設の整備、管路等の修繕に備えていく必要があるため、出来るだけ基金に積み立てていきたい。

㉛質疑 今回の補正は、東日本大震災の被災者に対し、介護サービス利用料の自己負担分等の減免に対して国庫補助金が追加交付されることによるものだが、その対象者は何名か。

㉜質疑 介護保険災害の臨時特例補助金の対象者は75名である。

◆会計別予算規模

(単位：千円、%)

会計区分	平成24年度	平成23年度	増減額	増減率
一般会計	30,910,000	29,970,000	940,000	3.1
国民健康保険特別会計	7,331,243	6,970,900	360,343	5.2
下水道事業特別会計	1,515,564	1,393,876	121,688	8.7
介護保険特別会計	3,718,946	3,442,200	276,746	8.0
後期高齢者医療特別会計	537,286	501,200	36,086	7.2
水道事業会計	695,674	719,040	△23,366	△3.2
計	44,708,713	42,997,216	1,711,497	4.0

「いんざい市議会だより」の1面に掲載する写真を募集しています。

【題材】印西市の四季折々の風景
【応募資格】市内在住、在勤または在学

応募方法等、詳細については議会事務局までお問い合わせください。
【印西市議会事務局】 ☎0476-42-5111 (内線607・608)

議会中継が始まりました

平成24年第1回市議会定例会からインターネットによる議会中継(生中継及び録画中継)が始まりました。
アドレスは
<http://www.discussvision.net/inzaisi/index.html>

お詫びと訂正

議会だより第159号(2月15日発行)掲載記事に誤りがありました。お詫び申し上げますとともに、訂正いたします。
1ページ掲載
予算審査特別委員会審査報告
・21住区地域交流施設用地取得費
・21住区学童保育施設用地取得費
誤) 単価 5万5000円
正) 単価 5万5500円

一般質問

平成24年第1回定例会では開会日から6日間、21人の議員による会派代表質問および個人質問が行われ、市政全般に対して活発な議論が展開されました。ここでは紙面の関係でその一部を掲載いたします。

北総志政会 小川 義人 安心して暮らせる施策・公共交通について

質問1 安心して暮らせる

施策について①病児・病後児保育事業について②AED(自動体外除細動器)マップの作成について

病児・病後児保育事業の拡充を進めていきたい。②市内のAEDの設置状況については、ホームページで知らせているとおり、公共施設に68台、民間施設に4カ所、9台が設置されている。AED設置箇所マップ作成については、市民の安全に関わることであり、AEDの設置状況が市民によりわかりやすいよう周知方法を検討する。

市長 ①現在、私立保育園

2園で、「体調不良児対応型」の病児・病後児保育を実施している。提案のあった医療法人緑生会施設への病児・病後児保育事業の併設は、緑生会側から「病児対応型」及び「病後児対応型」の事業を実施したい旨の相談があった。県も含め協議を行っている。市としては、安心して子育てができる環境整備のために、

質問2 公共交通について

①JR成田線の利便性向上について②印西牧の原駅利用者のアクセス改善について

きたいと考えているかがか。答弁 今後とも、子育て最優先都市を目指し、病児・病後児保育事業の充実を図っていききたい。

市長 ①木下駅北口交通広

場の整備は、平成23年度中に家屋の移転補償が完了することから、24年度は駅前広場の整備を計画している。小林駅南口駅前広場の整備は、千葉県の都市計画道路の用地買収と併せた交渉が必要で、千葉県が物件調査委託を実施している。市では、その結果を基に、24年度から用地交渉を行う努力していきたい。24年度の小林駅の駅舎及び自由通路の整備は詳細設計を進め、26年度の供用開始を予定している。



AED(自動体外式除細動器)…心肺停止状態の人の心臓に電気ショックを与えて、正常な状態に戻し、突然死を防ぐ機器です。

市民から要望の多い増便については、我孫子発21時以降、成田発22時台の増便という時間帯を明示し、最重要要望としている。接続改善についても、常磐線特別快速の我孫子駅停車の要望を行っている。

JRは25年度中の完成を目指す。常磐線等が東京駅へ乗り入れるための東北縦貫線の整備を進めている。市としては、常磐線が東京駅へ乗り入れることも、成田線の利便性向上につながることを、この機会を捉え、成田線の増便や常磐線との接続改善を強力に要望していききたい。②印西牧の原駅へのアクセス特急の停車については、様々な機会を捉え、京成電鉄(株)に働きかけている。例えば、朝夕の通勤通学時間帯のアクセス特急の停車

代表質問 計画は達成すべし 新政 海老原 作一

質問 基本計画の施策ごとの目標達成の工程管理について。

市長 施策ごとの取組に対し、これまで評価、点検を行い、事業の効率性を高めている。また、事業の進行管理では、年度ごとに目標を設定し

毎年年度検証することで、限られた財源の中で効率的な事業展開がされるよう努めていく。

質問 次期基本計画に対応した財政計画について。

答弁 次期基本計画に盛り込まれた施策を確実に推進するため、現在策定中である。計画期間における財政収支の見通しを立て、現在及び将来の問題点をとらえ、財政運営の健全性を確保していく。

質問 財政計画の公表について。

といった、アクセス特急の一部を印西牧の原駅に停車させることも一つの方策と考えている。提案のあった朝夕の印西牧の原駅発着の普通列車を特急や急行として運行することも、北総鉄道株式会社に対して、運行内容の改善を求めたい。印西牧の原駅圏全体のより一層の利便性向上のため、今後とも様々な機会を捉え、印西牧の原駅のアクセス改善に向けた取り組みについて、運行事業者に対し、強力に働きかけていきたい。

質問 現在策定中の財政計画では、将来債務残高、基金残高、実質公債費比率、経常収支比率などの財政指標を定め、分析、解説を加え公表も合わせて考えていく。

市長 第2次ゴミ減量計画の目標値について。

市長 平成24年度から平成32年度を計画期間とし、対前年度比約2%程度の削減をして最終的に約20%減を目指す。

質問 ゴミ減量と組合負担金について。

答弁 負担金はゴミ量割になつており、排出量が減った場合は、負担金額も減額する。

質問 ゴミ減量によるクリーンセンター更新計画に対する負担金について。

答弁 更新経費が減少し、

負担金額も減額する。質問 可燃ゴミが15%削減された場合の組合負担金の減額について。

環境経済部長 平成22年度実績から、約5000万円である。

質問 印西市への病院開設提案について。

市長 千葉県保健医療計画では、印旛保健医療圏の不足病床数は491床で、市内に計画された病院開設または増床は3事業者907床である。また、二次救急医療に対応した計画は2事業者である。

質問 印西市医療整備構想に適合する事業者は。

健康福祉部長 二次救急医療施設整備が急務ということから2事業者である。

質問 放射性物質の除染計画について。

市長 除染対象区域の調査測定は、これまで実施した幼稚園、保育園、小・中学校等の施設は測定結果をもとに、また、他の場所については空間放射線量を走行サーベイで測定し除染対象区域を定めていく。

質問 子供たちに関係する施設に対する対応は。

環境経済部長 各施設で5カ所か所を測定し、その平均的な空間放射線量が毎時0.23マイクロシーベルトを下回っている施設もあるが、施設内で局所的に空

間放射線量が高い地点の除染が必要であることから、除染実施施設としている。

質問 国の財政支援は極めて限定的とのことだが、国の財政支援のあるなしに関わらず除染を進めていくのか。

答弁 公共的施設については、子供たちへの対応を十分にしていこう方針である。

質問 放射性物質を含む焼却灰の手賀沼終末処理場での一時保管について。

市長 我孫子市長と連名で他の国有地、県有地での再検討を要望した。また、市としては、県提案のあった用地に4市1組合のすべての焼却灰等を受け入れることは社会情勢から市民感情を考えたとき、了承できないと考えている。

質問 一部の焼却灰は受け入れるということか。

環境経済部長 県から代案が示されていないことから、県提示のすべての焼却灰を受け入れることは承知できない。



学校での除染作業の様子。

代表質問

市民オンブズの会 雨宮 弘明 市長の公約認識と 北総線運賃問題無策を問う

質問1 市長のマニフェスト(選挙公約)について
市長選挙が平成24年7月8日に行われると新聞発表されたので、市長自身4年前のマニフェストをどのように実行してきたのかについて聞きたい。

二期目は無投票当選だったが、公費で発行できるマニフェストを配布したのか。

市長 記憶にない。

質問 対立候補が出なかったのを忘れたのかもしれないが、この「負けるな印西、頑張る印西」というマニフェストを配布したのではないか。公職選挙法では市長は1万6000枚まで公費で配布できるようにになっている。

答弁 法定のチラシとして配布させていただいた。

質問 無投票だったので市民の皆さんに二期目の政策を周知されたのかどうか知りたくて、実際に配布されたのかお聞きしたが、これまで市の政の中で、4年前「市民参加条例」を制定されたことは非常に評価している。

しかしながら、この市民参加条例は議会で審議で修正案がでて一番重要な住民投票の規定が削除された。その後全国的に住民投票

の機運が盛り上がる中で、昨年、総務省が住民投票制度を法制化するまでになったが、市長は市民参加条例を見直して、住民投票の規定を復活させる意思があるか。

答弁 今後とも市民参加の推進に努めてまいりたい。

質問2 北総線の運賃問題について
平成22年7月の運賃値下げ後一年間の運賃収入の減少額及び京成電鉄(株)、北総鉄道(株)の負担額はいくらか。

市長 平成22年7月から23年3月までの実績から推定すると、値下げ後一年間の減収額は約5億8000万円になる。これに対し自治体の負担は一年間で3億円、北総鉄道は負担は2億8000万円ではないか。

質問 「合意書」では、県と6市が補助金3億円、北総鉄道も3億円(純増分2億5000万円+自助努力5000万円)拠出することになっている。仮に値下げによる減収額が6億円を超え10億円になったらどうなるのか。

企画財政部長 合意事項については渡し切りの補助金と考えている。金額が余りにも現実から乖離が生じてくれば県・自治体間で検討することになると考えている。

質問 京成電鉄が支払う線路使用料の件だが、北総鉄道は今期の上半期の決算では7億1500万円計上しているが、この中にはアクセス特急に乗り換えることによる北総鉄道の減収が含まれているか。

答弁 含まれているものと思っている。

質問 「思っている」ではだめだ。「合意書」により関係者の協議で確認したのか。

副市長 含まれているものと理解している。

質問 北総鉄道は、小室から印旛日医大までの線路を所有する千葉ニュータウン鉄道(株)に年間25億円もの線路使用料を払っている。この見直しを親会社の京成や国土交通省・県に要望していた。千葉ニュータウン鉄道の最近の業績を把握しているか。

企画財政部長 詳細は把握していない。

質問 同社は前期黒字に転換、4400万円の純益を計上している。

市長 ご意見も十分把握しながら今後の値下げ運動に頑張っていきたい。



北総線

代表質問

公明クラブ 浅沼 美弥子 生涯現役社会を構築し 高齢者から幸齢者へ

質問1 本年から、全国680万人の団塊の世代が65歳を迎える。最も人口の多い世代の引退が数年続くことによる社会に与える影響が懸念され「2012年問題」と言われているが、印西市ではどのようにとらえ対応しようとしているか伺う。

市長 市の団塊の世代の人数は、本年中に65歳を迎える人が、1388人、64歳を迎える人が1535人、63歳を迎える人が、1620人である。市としても2012年問題への取り組みの必要性を認識している。市としては、高齢者の豊かな経験や能力・技術などを地域の中でさらに活かす、まちづくり活動や市民参画、ボランティア活動などに積極的に参加していただけるよう、情報の提供等につとめるとともに、シルバー人材センターへの支援や総合福祉センターなどの運営、学校活動やスポーツ活動への参加促進など、高齢者への支援策を



高齢者の健康増進講座等が開催されている老人福祉センター(写真:総合福祉センター)

進めている。また、平成24年度からの第1次基本計画においても、高齢者福祉の充実としてプランに位置づけ、就労支援や高齢者が健康でいきいきと生活していけるよう積極的に支援していくこととしている。今後も行政として行うべきものと、側面から支援すべきもの、見極めを行いながらこの問題に対処したい。

質問 団塊世代の方々のマシパワーは大変な宝である。そこで団塊の世代をターゲットにした情報発信の取り組みとして、昨年新宿区で開催された「30才のつどい」を参考に「団塊世代のつどい」等を開催してはどうか。

健康福祉部長 高齢者の方々が、地域社会で生き生きと過ごしていただけるよう、市としても多方面から取り組みが必要がある。ご提案の「団塊世代のつどい」の開催についても今後検討する。

質問2 待機児童解消のため保育計画の策定が必要ではないか。

健康福祉部長 現在、子育て家庭の同居等により待機児童は急激に増加。今後も続くものと予想している。保育施設の老朽化による施設整備や、社会福祉法人等の民間保育施設の導入など市の保育施策を進める上で、保育計画は重要である。また、現在国が進めている子ども・子育て新システムにおいても「(仮称)市町村新システム事業計画」を策定することとしているので、市として、この計画も見据えながら保育等の計画策定を進めたい。

質問3 児童虐待が増加している。虐待防止の啓発運動

や虐待が疑われた時に通報できる体制づくり等の他、特に、周産期の母親支援について、もつと研究・改善の余地があるのではないかと。

健康福祉部長 母子保健事業の一環として虐待予防の観点からも、妊娠期にある全ての母親が、不安なく安定した妊娠期を送ることができるよう支援していく。

その他の質問

- ・電気自動車の普及促進策
- ・地域包括ケアシステムの構築計画
- ・新規就農総合支援事業「青年就農給付金」の活用
- ・スポーツ資源の活用による地域活性化・観光振興
- ・実践的防災教育の推進
- ・PFI方式による学校・普通教室の空調設備の整備
- ・地方分権改革に伴う対応

質問1 2期目のマニフェストの検証・成果・進捗状況について伺う。

市長 ①暮らしやすい都市機能のある街づくりについては、成田新高速鉄道の整備促進、北総線の高運賃是正に積極的に取り組み、ふれあいパスの増便及び新ルートの検討実施がある。平成22年7月に成田スカイアクセスが開業し、それに合わせて北総線の運賃を普通運賃6%弱、通学定期25%、通勤定期1%弱、

代表質問

山崎市政2期目の総括について 昴(すばる) 松本 多一郎

平均4・6%の値下げを実現した。ふれあいバスについては朝便の新設、ダイヤ改正、2ルートの新設した。②安全、安心な健康施策については、子ども医療費助成制度を創設、コスモス健康検査の実施、防災行政無線の整備と災害時等の広報活動強化、自主防犯活動への支援がある。こども医療費助成については、平成23年8月には中学3年生まで対象を拡大した。コスモス健康検査は、検査項目を充実し

継続的に実施している。防災

行政無線は、印旛、本埜地区との統合整備を進めている。

防災メール、緊急通報メールの運用を開始した。また防犯カメラ195台を設置し市民の安全の確保に努めている。

病床施設のある病院の誘致については、産婦人科、小児科を主とする81床の病院が建設中であり、診療科目の増、病床の増、二次救急医療にも対応していきたいとの意向も聞いている。

③多彩な産業が育つ活力ある街づくりについては、農業版ハローワークの実施、地産地消については、学校給食への市内農産物の使用量は39%まで高まり、産直センターはJ.A西印旛へ支援し平成22年に完成した。企業誘致は企業誘致促進条例の改正により優遇制度を見直し現在15社が指定事業者となっている。

④環境施策の推進については、3Rやチームマイナス6%の推進、太陽光発電、太陽熱温水器の設置補助、市民参加型の生物モニタリングや里山、水辺など自然環境の保全、保護、各種美化活動等の各事業に成果を上げている。

⑤市民、情報ネットワーク構想については、市民参加条例を取り入れた次期基本計画を策定し平成23年度より実施される。市長談話室オアシスは、毎月実施現在まで63回実施、363件のご意見、要望を伺い可能な限り迅速に対応した。地域懇談会については、46回実施し800人以上の方々と市政について意見交換

した。 質問2 今後の街づくりへの取り組みについて伺う。

市長 取り組んできた各種施策の着実な進展を図り、また、新たな課題や重要事業について引き続き責任を持って任に当たる事が私の使命と考へ9万1000余の市民福祉向上のために全身全霊を傾け取り組んでいく決意である。

質問3 木下駅圏の課題について①旧印旛高校跡地活用 ②木下駅北口整備 ③J.T跡地活用 ④竹袋調整池周辺

市長 ①旧印旛高校跡地は関連市道、下水道などの基盤整備や各種広場や既存施設を活用した建築物の基本設計を進めている。

②木下駅北口広場は平成24年度に排水整備工事及び駅前広場の整備を行う。③J.T跡地は平成24年度に芝生広場、東屋、トイレ、駐車場を整備する。

④竹袋調整池については協働事業を推進。 その他の質問 ・平成24年度予算と主要事業 ・環境施策、農業施策、教育施策、行財政改革の取り組み、一部事務組合について

個人質問 親族企業(株)山洋の取引に関するものでは

板倉 正直

質問1 市内の白幡字庚申前の県道市川・印西線の道路の脇で、残土埋め立ての計画があると聞く。今、工事はストップしているようだが、市はどんな指導をしたのか。

市長 白幡の小規模特定事業に係る許可については、平成23年12月1日に許可している。この許可の後、周辺関係者から「事業について詳しい説明を受けていない」という問い合わせがあり、条例により、事業者に対して事業の停止を命じて、土砂の搬入は一切せず、現状復旧させている。

質問 市長の妻が社長の「(株)山洋」が残土埋め立てに絡んでいる。「(株)山洋」は埋め立て予定地の借地人であり、

関連市道、下水道などの基盤整備や各種広場や既存施設を活用した建築物の基本設計を進めている。②木下駅北口広場は平成24年度に排水整備工事及び駅前広場の整備を行う。③J.T跡地は平成24年度に芝生広場、東屋、トイレ、駐車場を整備する。

④竹袋調整池については協働事業を推進。 その他の質問 ・平成24年度予算と主要事業 ・環境施策、農業施策、教育施策、行財政改革の取り組み、一部事務組合について

立ち退き金、48万9600円を建設業者から受け取った。現金を「(株)山洋」が受け取る現場に市長が立ち会い、自身で現金を数えた、という業者の証言があるが本当か。

回答 事業が法令に従って行われるようお願いするため、に立ち会った。現金を数えた、という事実はない。

質問2 2千数百万円もかけて建設した市役所「牧の原出張所」を、UR(都市再生機構)に言われるまま市のお金で取り壊して立ち退くのか。建物を有効利用する計画はないか。

市民部長 ない。 その他の質問 ・ゴミ焼却場のダイオキシ

質問 合併前より提案してきた、新印西市のマスケットキャラクター「いんざい君」のデビューについて伺う。

副市長 平成23年12月に決定した市のマスケットキャラクター「いんざい君」は、名刺や封筒などで、すでに活用している。今後シールやクリップ、アフェイル、バッジなどを、市内小中高等学校や、イベント会場で配布することを検討している。平成24年度には着ぐるみなど様々なグッズを製作し、各種イベントでお披露目する予定だ。現在いんざい君に関するデザインの取扱要綱を作成しており、約80のポスターを市民や事業者を活用している。市が知名度・好感度のアップにつなげる。

個人質問 ゆるきやら「いんざい君」のデビュー

中澤 俊介

質問 合併前より提案してきた、新印西市のマスケットキャラクター「いんざい君」のデビューについて伺う。

副市長 平成23年12月に決定した市のマスケットキャラクター「いんざい君」は、名刺や封筒などで、すでに活用している。今後シールやクリップ、アフェイル、バッジなどを、市内小中高等学校や、イベント会場で配布することを検討している。平成24年度には着ぐるみなど様々なグッズを製作し、各種イベントでお披露目する予定だ。現在いんざい君に関するデザインの取扱要綱を作成しており、約80のポスターを市民や事業者を活用している。市が知名度・好感度のアップにつなげる。

回答 現段階は、いんざい君グッズ等を作成し、キャラクターの浸透を図る時期であり、経済波及効果は把握できていない。今後、印西市マスケットキャラクター取扱要綱に基づき、民間事業者の方々にいんざい君を使用した商品などを広げ、製造・販売していただき、経済波及効果があらわれるようにPRしたいと考えている。

質問 商標登録について伺う。

回答 商標登録は、平成23年12月13日に特許庁へ出願を済ませており、6月に登録が完了する予定となっている。

質問 地域経済を活性化するうえで、経済波及効果について伺う。

回答 地域経済を活性化させるうえで、経済波及効果について伺う。

個人質問 交通問題の解決に向けて

齋藤 光彦

質問1 高花バス通りの通過車両による振動・騒音被害について

都市建設部長 高花バス通りの振動・騒音等の対応については、道路の損傷具合を道路パトロール等で確認しながら、また要望も伺いながら、補修対応してきたが、現状を踏まえ、今後6丁目の交差

点からバスの折り返し所までの間の舗装打ち換えを行うために計画を立てているところである。

質問2 6駅(仮称、そうふけ高花駅)設置計画について

企画財政部長 6駅については、平成24年度からの印西市基本構想の土地利用基本構

想図の中に駅圏・検討として位置づけさせていただいており、さらに第1次基本計画の分野別計画、基本目標の5分速で暮らしやすい都市機能の充実した美しいまちをつくる、の政策2、生活を支える

交通環境を整備する、の施策2、公共交通の充実、の主な取り組み、北総線・成田スカイアクセスの利便性の向上の

中でも、「6駅の設置や駅周辺整備の可能性についても検

個人質問 今こそ、印西の未来を共に考えよう

上條 公司

質問1 首都直下型地震が予想されている今、印西市はどのように防災計画の見直しをしたか。万が一の事態に、福祉避難所を設置する考えはないか。

総務部長 避難者収容、備蓄食料等の再検討、洪水など複合災害対策を併せ持つ計画とする。災害時は要援護者に配慮し、福祉センターや公民館を福祉避難所としたい。

質問 地域自主防災会議に対し、更なる支援強化を望んでいる。

回答 資機材支援を考えると、木下駅周辺の雨水排水対策の進捗状況について訊ねる。

都市建設部長 六幸橋から木下駅前通りまでの管渠敷設工事は今年度中に完了、平成24年度は六軒十字路までの工

討を進めて行きます。」と記載させていただいており、今後は、周辺の土地利用の状況や千葉ニュータウンの成熟などの諸状況を踏まえて、設置の可能性について検討すべきものと考えている。

その他の質問 ・千葉ニュータウン事業について

・危機管理体制について ・健康と医療問題について ・観光行政について

事を実施する。木下駅南側の大森・東埜原地区の整備は、24年度に詳細設計を実施、25年度から工事に着手したい。

質問 デキシー裏の排水路に蓋をして歩道にしたいかどうか。

回答 整備の詳細設計の中で検討していただきたい。

その他の質問 ・クリンセンター建設予定の土地代を当初予算に計上しなかったのはなぜか。市長選後に補正予算を組むのか。感心しない。当初予算の編成時に見込めるものは、可能な限り計上すべきだ。地元我真摯に説明を重ね、堂々と予算を計上し市民の審判を仰ぐべきだと思う。

竹袋に消防車・救急車進入可能道を。

質問 市長の妻が社長の「(株)山洋」が残土埋め立てに絡んでいる。「(株)山洋」は埋め立て予定地の借地人であり、

個人質問

東京電力の値上げについて

橋本 和治

質問 ①東京電力が発表した企業向け大口電気料金の値上げについて、本市における市関連施設への影響とその対策を伺う。②東京電力の値上げ対策として、PPS(特定規模電気事業者)の導入は有効である。これまでの検討の結果を伺う。

総務部長 ①市の施設で、値上げの対象となる63施設について実績を参考に算定すると、年間で約2,100万円、前年度比、約10%の増額と見込んでいる。値上げへの対策としては、より一層の節電対策となるが、昨年の震災以降、大幅な節電対策を実施しており、施設の利用者や職員の健康面等を考慮すると、節電対策にも限度がある。②細部については、より調査が必要だが、早期導入に向けて準備を進めたい。

質問 市内の大手民間企業にも影響を及ぼすのでは心配でならない。今回の値上げが地場産業に及ぼす影響について、市としての見解は。

環境経済部長 企業にとりコストアップに直結するので、経営への影響はあると思う。

質問 市として、東京電力に対し、「電気料金値上げの見直しを求める要望書」を出す考えはないか。

総務部長 千葉県を含めて9都府県で、国及び東京電力に要望書を出している。その回答を見極めて対応したい。

個人質問

URと株山洋の取引中止する予定はないか

山本 清

質問1 市長の妻が社長をしている会社、「株山洋」は、市長自身が現在、大株主であり、絶大な影響力を持つ。この会社は、流山や柏などでUR(都市再生機構)から工事を受注している。市長が印西地区環境整備事業組合管理者としてURの土地を40億円で買収した昨年6月の直前の時期、約1年間を見ても、URから1千万円単位の仕事を

市長 違法ではない、と認識している。

質問2 西の原のURの土地の商店街立ち退きについて、住民への説明はどうなっているか。

市長 現在も個々の商店主

との間で補償交渉が行われており、市は注視している。
質問 住民への説明について聞いているのだが、夏の説明会以降、説明したのか。

都市建設部長 していない。
その他の質問 説明責任の定義は何か

個人質問

急傾斜地崩壊対策について

藤代 武雄

質問 急傾斜地の箇所数について伺う。

都市建設部長 千葉県が調査し公表している傾斜度30度以上、高さ5m以上の土砂災害危険箇所は、市内において258カ所である。

質問 急傾斜地対策事業の現状について伺う。

答弁 対策事業として実施したのは6カ所、5カ所は事業を完了しているが、萩原地区は現在も継続中で印旛土木事務所において実施している。
質問 急傾斜地対策事業の内容について伺う。

答弁 「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」により実施し、都道府県知事が「急傾斜地崩壊危険区

・ゴミ焼却場移転で市は説明責任を果たしているか。
・保護者や教職員による「除染作業」の是非について
・プール開放再開あるのか
・いには野スーパ撤退と市の役割

域」を指定し、公共で工事を施行することとなっている。
質問 今後の急傾斜地対策の事業化について伺う。

答弁 一般的な公共事業と異なり、人命を守ることを目的に実施されるが、工事費が非常に高額なことから、県営事業制度の有効活用、投資効果などを考慮し事業化していきたいと考えている。

また、今後の事業化を考慮した場合、地元負担を課しながら事業の進捗を図る必要がある。継続中の萩原地区の負担率5%を基本に考えている。
その他の質問

・農業振興について
・放課後児童対策について
・学校教育について

個人質問

市民の声を聴け ゴミ焼却場移転見直しを

山田 喜代子

質問1 次期中間処理施設(ゴミ焼却場)整備事業について、都市再生機構の土地への

移転計画(取得費約40億円)は一旦凍結し、早急に広く印西、白井市民、栄町民の意見

を聴取する検討組織を立ち上げ、財政負担の問題やゴミ減量化等の施策を含めた次期廃棄物処理計画の検討を行うべきだ。組合設置の次期中間処理施設整備検討委員会のメンバーは17人中、住民は6名(首長の推選)のみ。後は管理者推選だ。コンサルに至っては官製談合等で社長逮捕の過去があり、更にゴミ処理基本計画から今回の業務まで3回にわたり組合との業務契約の額は約5000万円にものぼっている。施設の建設を急ぐのではなく、どうゴミ減量を徹底するかであり、それなくしてゴミ問題は解決しない。ゴミの資源化率県内1位の我孫

子市ではゴミの分別等の協議を市民と400回も重ねるなどしている。
環境経済部長 組合として丁寧に説明していきたいとのことだ。

質問2 草深・原地区に上下水道の整備を。地元の協力でニュータウンのまちが造られたのだ。その認識はあるか。

都市建設部長 県で圏域全体を対象とした見直しをする時期があるので、その時期に検討する。
その他の質問

・成田新高速鉄道アクセスの建設補助金返還問題について

個人質問

印西市第一次基本計画について

酢崎 義行

質問1 現在の進捗状況と今後のスケジュールについて。

市長 現在、基本構想と第1次基本計画を1冊の総合計画書としてまとめる作業と、市民の皆様にも親しみのある計画書となるよう、デザイン調整等の印刷製本作業を行なっている。3月末には完成する予定である。

質問2 基本計画に盛り込まれた市民の意見について。

市長 基本構想策定時に実施した市民説明会やパブリックコメントの中で意見のほとんどは既に反映されたものほか、今回の説明会や意見公募の内容が盛り込まれた。

質問3 特に力を入れる重点施策について。

市長 保育園の整備・充実などの子育て支援に係る事業、市民の安全・安心な生活を守るための防災・防犯に係る事業、JR成田線の利便性向上のための小林駅舎整備等に係る事業、千葉ニュータウンの道路、公園等の基盤整備に係る事業といんざいスマイルプランを市民の皆さんとの協働で推進する事業。

その他の質問
・地域公共交通総合連携計画について
・印西市の遺跡・遺物の公開について

会議録がインターネットで閲覧できます。

ホームページアドレス <http://www.kaigiroku.net/kensaku/inzai/inzai.html>

市議会だよりに掲載の審議内容や一般質問は、紙面の都合により要約してあります。今までの会議録による閲覧に加え、インターネットによる閲覧ができますので、ぜひご覧ください。

なお、従前どおり、会議録は次の場所で閲覧できます。第1回定例会の会議録は、6月上旬頃閲覧開始予定です。

- ◇議会事務局(市役所5階)
- ◇情報管理課(市役所3階)
- ◇支所(印旛・本埜)
- ◇市内図書館6館(大森、小林、小倉台、そうふけ、印旛、本埜)



個人質問

平成23年度予算・水田農家 交通体系について

大塚 輝男

質問1 平成23年度一般会計予算の執行率ほどの位か。成果と課題はどうだったのか。

企画財政部長 総務費は10

の主要事業があり約73%、民生費は2の主要事業があり約87%、衛生費は8の主要事業があり約80%、農林水産業費は4の主要事業があり約65%、商工費は4の主要事業があり約95%、土木費は11の主要事業があり約57・7%、消防費は1の主要事業があり約100%、教育費は7の主要事業があり約77%である。

質問2 国はTPP(環太平洋経済連携協定)に対応する為、水田農家の規模拡大の

方針を示し、また、新規就農者の支援金を予算化した方が、市においてはどうか。

市長 市の取り組みとして、農地集積による規模拡大の支援や新規就農者への支援などの施策を講じる。制度の概要は、県から説明を受けている。

質問3 北総交通バス(2ルート)及びふれあいバス(印旛支所ルート)の利用状況と、在来地区は利便性に大きな格差があるが、どう考えるか。

企画財政部長 北総交通バス本線は1日286人で、滝野循環は1日45人である。印旛支所ルートは7時台から18時台まで運行して1日46人である。

ニュータウン事業の 収束と諸課題について

松尾 榮子

質問 千葉ニュータウン事業の収束と諸課題について。

①収束後の未処分地の管理、販売は。②大街区等に関する交渉主体は。③千葉ニュータウン事業は、これまで北総の中核都市の形成を目標に進められてきた。事業収束後、市は、このまちづくりの継続をどう図っていくのか。

市長 ③平成25年度末時点でも未処分地が残ると想定さ

れ、今後も継続した街づくりを進める必要がある。都市再生機構には、事業収束後も、これまでのまちづくりの考え方を踏襲しながら責任を持ってやっていたいただきたい。総合計画においても、居住・雇用・交流といった各分野で、首都圏の一翼を担う都市機能の充実したまちづくりを掲げており、平成24年度策定予定の都市マスタープランにおい

ても、しっかりとした街づくりの方向性を示していきたい。

・高齢者の孤立化防止
・多様な子育て支援策
・買い物弱者対策、他。

都市建設部長 ①未処分の

土地は新住事業者が所有・管理。平成30年度までの処分完了を目指し、引き続き販売促進に努めると聞いている。②

まちの熟成、まちづくりという観点では、都市計画担当課が関わっていく。具体的な開発行為や建築確認、企業誘致等についてはそれぞれ関係する部署で対応していく。

その他の質問

・橋梁の計画的維持管理
・放射線問題



個人質問

クリーンセンター 白紙撤回する考えがあるか

國嶋 久善

質問1 平成22年1月14日

付で中央駅北地区町内会自治会連絡会クリーンセンター対策委員名で3,547名の署名、平成24年2月1日付けで4,445名の署名付き請願書が提出されました。これら市民のことを考えたならば、ちゃんと説明責任を果たすべきだ。

市長 説明の中で説明が十分ではない、との意見をいただいたことから意見を踏まえ

熟慮した結果、ご理解をいただくためにもう少し時間をかけて丁寧に説明していく。

質問2 いには野住民が今

死活問題になっている現状を議会がある度に市長に強く早くランドロームが開店出来るように駐車場の問題を解決し

てくれるように提案したのにもかかわらず、市長は関係者に一度も立ち会っていないことを知り無念でならない。1月上旬にランドロームの役員から相談があり板倉議員と3人で逢い要望(知人が店を出店したい)があり2月6日都市再生機構の事業者部長に逢いその要望を伝達しました。

本部長は公募しているので直接逢って前向きに考えますと解答を戴いた。

環境経済部長 公募につきましては平成24年2月22日申し込みを終了しているとのことだが、今後は申込書類等により審査を経て3月下旬までに契約の締結を行う予定だと聞いている。

個人質問

使い易い公民館運営を. 21住区充実のために

近藤 瑞枝

質問1 震災後、避難訓練や緊急対応の見直しは。

教育部長 専門家からの指導・助言を。また、保護者へ

複数の連絡手段を構築。

質問 陸の孤島となる、通信不能状態への対策は。

教育部長 災害時優先電話を設置。

総務部長 防災行政無線を設置。

質問 学校と地域との協体制は。

教育部長 原山中において、また、小倉台・木刈・小林で自主防災組織と連携。

質問 学校を核にしたコミュニティづくり推進は。

答弁 たいへん重要。引き続き、地域コミュニティづくりに努める。

質問2 学校現場の教職員

の多忙化に対し、ICTによる校務支援システム導入は、校務効率化・勤務スリム化にどの程度成果があるか。

教育部長 各職員が操作スキル習得後は、事務処理時間の3割以上の軽減が期待できる。

質問 学校だけでは対応不能の保護者との調整は。

答弁 学校・教育委員会が真摯に対応しても、なお両者の認識に食い違いがあれば、千葉県設置の「学校問題解決支援チーム」に。

その他の質問

・印西牧の原駅圏の活性化について。イベント・事業計画、及び北総線の利便性向上について。

個人質問

4市1組合の焼却灰をどうする

板橋 睦

質問 終末処理場への焼却灰一時保管問題について。

環境経済部長 平成23年8

月31日付けで「放射性物質を含む焼却灰の最終処分の一時保管場所等の緊急要望」として、8000ベクレルを超え

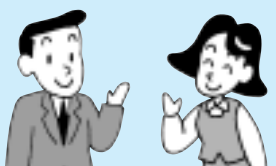
保管場所として、印西市と我孫子市にまたがる手賀沼終末処理場が提示された。

市としては、その後印西市及び我孫子市の首長連名により、国有林の活用を検討や他市の県有地の再検討などについて、これまで計5回にわた

り要望してきたところだ。

平成24年2月6日には県と関係5市長による会議が開催

ご意見・ご感想をお寄せください!



議会だよりを読んで感じたことなど、皆さまのご意見をお待ちしております。

〒270-1396
印西市大森2364-2 議会事務局
TEL: 0476-42-5111
(内線607・608)
FAX: 0476-42-5299
Mail: gikai@ml.city.inzai.chiba.jp

《議会を傍聴してみませんか》

次の定例会は、5月29日(火)~6月19日(火)の会期予定です。開会は午前10時からとなりますので、5階議場にお越しください。また、インターネットでも議会中継(生中継及び録画中継)をご覧いただけます。なお、都合により変更になる場合があります。詳細については、お尋ねください。
印西市議会事務局
☎0476-42-5111 (内線607・608)



されその会議の席上において、県から改めて手賀沼終末処理場を一時保管場所とする考えが示されるとともに、新たに広域自治体としての県の責務として、住民の不安を払拭するために住民及び議会へ直接説明したい旨の話があった。市としては、あくまでも

個人質問
次世代育成支援行動計画と
公共交通について

岩崎 成子

質問1 行動計画の重点事業である4事業の進捗状況、
①保育サービス提供体制の確保
②地域子育て支援拠点事業の拡充
③ゆとりある子育ての支援
④経済的負担の軽減について伺う。

市長 ①現在、保育所待機児童数は125人、学童クラブの待機児童数はゼロとなっている。待機児童対策として、平成24年4月の牧の原宝保育園の開園や「グループ型家庭的保育事業」いわゆる保育ママの導入を計画し対応する。

②子育て中の親同士の情報交換や相談の場として、より身近な地域に開設している状況、現在、12カ所で事業を行っている。③安心して出産・育児

県の主催による説明会として、住民の立場に立って臨んでまいりたいと考えている。

その他の質問

- ・病院問題について
- ・印西クリーンセンターについて
- ・教育問題について
- ・道路・交通問題について

ができるよう、一時的に家事育児等の支援が必要となる小学生以下の児童がいる世帯に對しても事業を拡大している。

④未就学児の保険診療による通院及び1日以上以上の入院について所得制限を設けず医療費を助成。さらに、平成23年8月から医療費助成の対象を中学3年生まで拡大し、子育てを支援している。

質問2 公共交通充実のための取り組みについて伺う。

企画財政部長 住民アンケート調査の結果や各路線の現状等を整理し、バス公共交通のネットワークの再編の検討について取り組んでいく。

その他の質問

・生涯学習拠点施設について

個人質問
放射線対策と
子育て優先都市について

軍司 俊紀

質問1 放射線・放射能対策について、保護者への対応

を伺う。市内の保育園や教育施設に子どもを通わせている

保護者から引き続き不安の声を多くお聞きする。移動教室、ホワイトスクール等の行先についてどう考えるか。

教育部長 各学校で、行き

先の安全を確認し、保護者の方々の理解の上、決定されているものと認識している。

質問 本主に保護者の方々の

理解はあるのか。学校現場として本当に保護者の声を拾っているのか。

回答 保護者から場所によ

って不安があると声があることは学校から聞いている。

質問2 子育て優先都市に

ついて伺う。待機児童が125人とのことだが、保育士がいれば解消されるのか。

健康福祉部長 現在、主に

ゼロから2才のお子様を保育園に預けたいという需要の高

まりがあり、待機児童が急激に増加、現在のキャパを越えているという状況。保育士の増員が図られれば、一部解消が図られると考えている。

質問 なぜ、印西市では内

閣府が進める「先取りプロジェクト」のメニューとして、グループ型小規模保育を選んだのか。

回答 市としてはゼロから

2歳児が待機児童の中心であることから、その解消として即効性のある事業形態である「グループ型(小規模)保育」を選択した。

その他の質問

・クリーンセンターの移転と市民参加条例について

・病院の誘致について

・牧の原駅圏の将来について

各常任委員会での審査

一部の議案について、所管の常任委員会に付託し、審査を行いました。3月12日に総務企画常任委員会、13日に建設経済常任委員会、15日に文教福祉常任委員会をそれぞれ開催しました。

ここでは、紙面の関係により、委員会で行われた議案の主な質疑及びその答弁の一部について掲載します。

総務企画常任委員会

【議案第3号】印西市消防団の設置、消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定につ

いて(消防団員の定員改正等)

質疑 現在の団員数は何人か。どの地域が不足しているのか。

答弁 現在の団員数は722名。各支団とも不足している状況である。

質疑 改正後の定員が772名になると、50名不足していることになるが、不足している点について増員計画等あるのか。

答弁 消防団員の確保につ

いては、町内会、自治会や自主防災組織等との連携など地域ぐるみの取り組みを推進している。女性消防団員等の入団促進に配慮するとともに、

【議案第23号】指定管理者の

指定について(印西市市民活動支援センターの事業運営を指定管理者に行わせるもの)

質疑 印西市市民活動推進

委員会に、市民活動支援センターのあり方について諮問した理由は。

答弁 市民活動を取り巻く

環境の変化に伴い、市民活動団体が市民活動支援センターに求める機能が市民活動団体の相談窓口業務を求めている。そのなかで、どのような機能が支援センターとして必要なのか諮問した。

建設経済常任委員会

【議案第5号】印西産学連携センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について(公営から民営に移行するため、当該センターを廃止するもの)

成果は。

質疑 事業期間6年間の利用は、入居者数14社、入居率は70%から80%あり、当初の目的を達成した2社が卒業した。また起業創業セミナーを32回開催し、601人の参加があった。

平成20年度からは市内及び近隣市から企業や大学が参加し交流会も行われ、その交流会の中から3つの研究会が生まれ、情報技術を活用した新しい農業ビジネス研究に取り組んでいる事業が、総務省の地域雇用創造ICT絆プロジェクトの補助採択を受けたこと等が成果としてあげられる。

【議案第56号】業務委託契約の締結について(千葉ニュータウン21住区B街区内道路等整備事業に係る施行業務委託)

質疑 A街区の工事では減額変更になったが、今回の契約では精査したのか。

答弁 A街区の工事で減額となった内容は、落札差金、地中管路の断面の見直し、入線負担金や舗装圧の見直しがあつたが、今回の設計にはすべて反映しているため、大きな変更はないものと考えている。

文教福祉常任委員会

【議案第7号】印西市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について(介護保険料の基準額及び保険料率等の改

正)

質疑 基本的には値上げで、支払い能力のある方にはより負担をしていただくという理解でよいか。

答弁 介護保険料の基準額

が月額3700円から4200円に5000円の増額です。また、所得の低い方に対してはそれなりの配慮をし、所得の多い方には若干多く負担をしていただく形で現行の9段階から13段階に設定した。

【議案第8号】印西市子ども

発達センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について(子ども発達センターで行うものとして)いる事業のうち、障害者自立支援法の規定により児童福祉法の規定による児童発達支援に改めるもの)

質疑 条例の改正により、

サービスは変わるのか。

答弁 根拠法が児童福祉法

に代わるといふ事であり、内容については同じである。

発議案

▼予算審査特別委員会の設置について(可決)

補正予算及び当初予算をより慎重に審査するために設置するもの。

請願

▼学校図書館の充実を求める請願(文教福祉常任委員会)

継続審査となっていたもの・不採択

▼印西市内過半数以上の幼児に幼児教育を担っている私立幼稚園に対し教育補助をお願いする請願へ文教福祉常任委員会で継続審査となっていたもの・不採択

▼クリーンセンター次期中間処理施設整備等に関する深度ある調査研究を強く求める請願へ建設経済常任委員会・閉会中の継続審査

クリーンセンター次期中間処理施設整備等に関して、次期中間処理施設整備計画と印西市のまちづくり計画との適合性を十分に考慮して、広く印西市民の意見を調査・聴取し、住民の意見を取り入れた事業計画策定のための調査研究を行うこと及び経済的合理性や印西市の将来負担を考慮した適切な廃棄物処理のありかたに関する調査研究を行うよう求める請願

▼印西クリーンセンター次期中間処理施設計画白紙撤回への行動を求める請願へ建設経済常任委員会・不採択

印西クリーンセンター次期中間処理施設新築計画の決定を白紙撤回するよう印西市として印西地区環境整備事業組合に要求すること。印西市はこの計画に関連する予算措置を一切、講じないこと。また、関連予算が成立している場合は未執行分を執行しないことを求める請願。

議会改革推進特別委員会報告

議会改革推進特別委員会

委員長 小川 義人

昨年12月定例会で決議された印西市議会における共通の基本理念と3つの基本方針のもとに、印西市議会における改革すべき事項について、検討を行っている。

昨年に引き続き1月以降、3月末までに計2回の委員会を開催した。

第8回委員会では、3つの基本方針に基づく、具体的検討項目を各会派ごとに持ち寄った結果、優先順位の高いものから、検討の協議を行っていくこととなった。

優先順位A(平成24年8月頃までに結論を出すべきもの)

・委員会の活性化について
・議員の資質の向上について
・広報について

優先順位B(平成25年6月頃までに結論を出すべきもの)

・政務調査費の総体的な見直し・検討について
・事務局体制の充実・強化について

・広聴について

優先順位C(平成25年6月以降も時間をかけて、結論を出すべきもの)

・議員定数・報酬等の検討について
・議会基本条例について
・その他の事項

第9回委員会では、優先順位Aの検討項目から、具体的な協議に入った。今後も引き続き、議論を行い、議会改革の検討項目を決めていく。

平成24年 第1回臨時会 議案等議決結果

Table with 3 columns: 議案番号, 件名, 議決の結果. Contains 3 items.

平成24年 第1回定例会 議案等議決結果

Table with 3 columns: 議案番号, 件名, 議決の結果. Contains 33 items.

Table with 3 columns: 議案番号, 件名, 議決の結果. Contains 56 items.

議会日誌

2月

- 1(水) 印西地区衛生組合議会
千葉県北総地区市議会正副議長会臨時会
- 2(木) 議会運営委員会
印旛利根川水防事務組合定例会
- 3(金) 印旛管内市議会正副議長連絡協議会定例会
- 7(火) 印旛沼水質保全協議会・手賀沼水環境保全協議会共催
平成23年度研究会
- 9(木) 平成24年第1回臨時会
全員協議会
- 10(金) 議会改革推進特別委員会
印旛郡市広域市町村圏事務組合議会定例会
- 13(月) 会派代表者会議
議会運営委員会
正副委員長会議
- 15(水) 文教福祉常任委員会
- 16(木) 印西地区環境整備事業組合議会定例会
- 17(金) 議会運営委員会
長門川水道企業団議会定例会
- 20(月) 平成24年第1回定例会(～3月23日)
議会だより編集委員会
- 21(火) ニュータウン等対策特別委員会
- 24(金) 会派代表者会議
- 27(月) 全員協議会
- 28(火) 総務企画常任委員会
- 29(水) 議会運営委員会

3月

- 1(木) 予算審査特別委員会(～5日)
- 6(火) 印西地区消防組合議会定例会
- 7(水) 予算審査特別委員会(～9日)
- 8(木) 全員協議会
- 12(月) 総務企画常任委員会
- 13(火) 建設経済常任委員会
- 14(水) 議会改革推進特別委員会
- 15(木) 文教福祉常任委員会
- 21(水) 全員協議会
- 23(金) 議会運営委員会
- 28(水) 議会改革推進特別委員会

4月

- 11(水) 会派代表者会議
- 16(月) 議会だより編集委員会
- 20(金) 千葉県市議会議長会定期総会
- 23(月) 議会改革推進特別委員会
- 25(水) 関東市議会議長会定期総会
- 26(木) 手賀沼流域下水道終末処理場における焼却灰等の一時
保管に係る印西市議会議員への説明会《千葉県主催》
- 27(金) ニュータウン等対策特別委員会

お知らせ

請願・陳情の提出はお早めに

請願・陳情書はいつでも提出できますが、平成24年第2回定例会(6月議会)で審議される請願・陳情書の提出期限は、5月21日(月)正午(予定)です。
お早目のご提出をお願いいたします。

一般質問の閲覧

平成24年第2回定例会(6月議会)で予定されている一般質問(個人)の内容は、5月23日(水)以降ホームページで閲覧できる予定です。

- 委員長 渡邊 正一
- 副委員長 橋本 和治
- 委員 海老原 作一
- 委員 藤代 武雄
- 委員 松尾 榮子

陳情

▼大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求め
る陳情(議員配付)
▼利根川の管理を国の責任で

行うことを求める陳情(議員配付)
▼市民から議会に対して出された市民の声である陳情を一律に議員配付に回すことなく各委員会にて審議を行う事を市に求める陳情(議員配付)

編集委員会視察報告

議会だより編集委員会では、平成24年1月19日から20日にかけて、愛知県豊田市議会と日進市議会を訪問し、視察研修をおこなった。

豊田市の主な視察項目は、
①議会広報の取り組み(議会だより、議会中継、議会啓発番組、市議会コーナー)②議会アンケートの取り組み③議員の賛否の扱い及び討論の掲載④一般質問の入稿の手順などである。

豊田市の議会だよりは定例会終了後の翌月15日には発行されているが、スピードアップのため、原稿作成、編集には議員がタッチせず、事務局と業者により議会と同時に進行が進められている。また、わかりやすく開かれた議会運営を目指して、平成17年3月議会から現在まで、定例会ごとに傍聴者に対してアンケートを実施している。アンケートの中には、「質問者の顔が見えない」と声があり、その対策として傍聴席の左右に1台ずつのモニター画面を設置したとのことである。

日進市議会の議会だよりは原稿作成はもちろん、掲載写真の撮影、編集などすべての作業を議員が行っていることである。また、議案の賛否を掲載しているが、各議員の賛否の確認は、自己申告することになっており、専用の集計用紙に自分で○×を書き込むことになっているそうである。議会中継については、ライブ中継の後、編集済録画を中継するまでの数日間は、未編集

の録画をそのまま流しているとのことであった。今回、議会だよりの発行に議員がほとんどタッチしない豊田市議会と、すべての作業を全面的に議員が行う日進市議会という、ある意味で対極的な議会を視察させて頂き、大変に勉強になった。今後の議会だよりの紙面充実に生かしてまいりたい。



インターネット議会中継事故についてのおわび

平成24年第1回定例会インターネット議会生中継中(2月24日及び2月27日)に機材の故障が発生しました。この故障により、橋本和治議員、山本清議員、大塚輝男議員、酢崎義行議員の生中継の一部または全てが視聴できなくなりました。また、24日及び27日の録画中継の一部画像がイメージ画像または画質の劣る映像になるとともに通常よりも配信が約3週間遅れてしまいました(音声については会議当日のものです)。

今回の事故についてインターネット議会中継をご覧いただいている方々、その他市民の皆様にも多大なご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

この事故はインターネットを介してデータを送信するパソコンの電源が突然落ちてしまうことにより起こったもので、調査の結果、パソコン内部のメモリボードの故障が原因と判明しました。

今後はこのような事故が再び起こらないようにデータバックアップ強化等の対策を講じます。これからもインターネット議会中継をご利用くださいますようお願いいたします。

編集後記

平成24年第1回定例会は、2月20日から3月23日まで33日間の日程で開催されました。例年、第1回定例会は、市が新年度取り組む事業、予算等の審議が集中し、年間で最もボリュームのある議会となります。一般質問も会派代表、個人で計21議員が行いました。

こうした長期の議会活動を市民の皆様にも正しくわかりやすくお伝えしていくため、これまで議会だより編集委員会では、限りある紙面の中で心を砕いてまいりましたが、今議会からは新しくインターネット中継が開始されました。これまで紙上で見ていただいていた議会の様子が、声や動きと共に見られるようになり、議会から市民の皆様への広報活動も画期的な一歩を踏み出すことになりました。とはいえ、緒についたばかりの今回の中継では、途中で音声等が途切れるなどトラブルも発生し、ご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。

インターネット中継開始に伴い、編集委員会では今後、広報紙、インターネット中継双方が、それぞれ良さを生かし、より市民の皆様にも身近に親しまれる議会広報に取り組みたいと考えています。(M・E)